

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年3月23日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	松永一美
レジメン名	ビーリンサイト(体重45kg未満)(神経学的事象出現時)	1-5サイクル目【計5回】	化学療法委員会承認年月 年 月
疾患名	B細胞性急性リンパ性白血病	再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病	
適応分類	進行・再発、寛解導入療法、 地固め療法	適応の備考	神経学的事象が出現した場合に用いる
1コース日数	42 日間	総コース数	5 コース 催吐性リスク 軽度

抗がん剤投与量・投与日 | ビーリンサイト5 μ g/m²/day day1~28

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	~	42	
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●																															
	点滴静注	テキサト注6.6mg テキサト注1.65mg	2 本 / body 2 本 / body		●																															
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	48 時間	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	点滴静注	生食20mL	1 本 / body		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		注射用水20mL	1 本 / body			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		ビーリンサイト	11.48 μ g / m ²		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

1日あたりの投与量は5 μ g/m²(ただし9 μ g/dayを超えないこと)

【投与上の注意】

- ・神経学的事象が出現した場合は、このレジメンを用いる。
- ・ビーリンサイト: 投与速度は、投与時間が24時間の場合は10mL/hr、48時間の場合は5mL/hrとする。
- ・ビーリンサイト: 設定した時間が経過したら、残破棄して新しいものに交換すること(残破棄せず全量投与すると過量投与となるため)。
- ・ビーリンサイト: 投与ルートは薬剤溶解液で満たしておく。
- ・ビーリンサイト: 輸液バッグ交換時等にフラッシュを行わないこと(カテーテルロックの際のフラッシュ等は許容)。
- ・ビーリンサイト: ビーリンサイト投与後の直接のヘパリンロックは禁止(ヘパリンロック前に生食でフラッシュすること)。
- ・0.2 μ mのインラインフィルターを使用して投与すること。

【調製手順】

- ①生食250mLバッグに生食20mLを加え、合計270mLとする
 - ②①で調製した生食バッグに輸液安定化剤5.5mLを泡立たないように注入、攪拌する
 - ③新しいシリンジを用い、ビーリンサイト1Vにつき注射用水3mLで溶解(この時、振らずにゆっくりと攪拌)し、必要量をとる
- ※調製後、バックスパイクは刺さずに払出すこと